

＜福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ＞  
(6月30日 午後3時現在)

平成23年6月30日  
東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月23日午前2時30分頃、給水系から原子炉への海水注入を開始しました。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。  
現在の注水量は、給水系配管から約 $3.5\text{m}^3$ /時です。
- ・ 4月7日午前1時31分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

2号機（停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、6月23日午後6時27分、1号機の原子炉へ注水している電動ポンプにより1号機および2号機の原子炉へ注水するように注水ラインを変更し、2号機に注水していた電動ポンプを停止しました。  
現在の注水量は、給水系配管から約 $3.5\text{m}^3$ /時です。
- ・ 6月28日午後8時6分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

3号機（停止中）

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。  
現在の注水量は、給水系配管から約 $9\text{m}^3$ /時です。

4号機（定期検査で停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

5号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・ 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後2時30分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 6月30日午前10時2分から午前11時48分まで、付属機器の電源切り替えのため、残留熱除去系による原子炉の冷却を停止しました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

## 6号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- ・ 3月19日午後10時14分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後7時27分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

## 使用済燃料プールの冷却作業

- ・ 5月31日午後5時21分、2号機の使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 6月29日午後2時45分から午後3時53分まで、仮設の電動ポンプによる3号機への注水を行いました。
- ・ 6月30日午前11時30分から午前11時55分まで、仮設の放水設備による4号機への注水を行いました。
- ・ 今後とも使用済燃料プールの状況を確認しながら、必要に応じて放水・注水を実施したいと考えています。

## その他

- ・ 4月26日午後1時30分、構内において放射性物質飛散防止剤の散布を開始しました。
- ・ 5月10日午前11時、6号機原子炉建屋地下から同号機廃棄物処理建屋へ溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 6月13日午前10時頃、2、3号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。
- ・ 6月17日午後8時より滞留水処理施設において滞留水の処理を開始しました。
- ・ 6月22日午前9時56分、2号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設プロセス建屋への溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 6月28日午後0時頃、6号機タービン建屋滞留水の移送先である仮設タンクの水位計（マノメータ）が倒れていたため、元弁を停止し当該水位計からの滞留水漏れを止めました。
- ・ 6月29日午前9時30分頃に確認した滞留水処理施設の淡水装置逆浸透膜濃縮水一次貯槽下部ドレン部からの水漏れ事象を踏まえ、同様事象の有無を確認していた際、午後5時40分に別の貯槽の閉止フランジ下部で水の滲みを確認したため、止水処理を行うとともにフランジ下部に受け皿を設置しました。
- ・ 6月29日午後2時49分、サイトバンカ建屋において水漏れを示す警報が発生したため、午後2時53分、滞留水処理施設を手動で停止しました。  
本事象の原因は、凝集沈殿設備処理水タンクへの流入状況確認のためタンク上部のマンホールを開けた際、タンク内の処理水が溢れて受け皿に流れ込み警報が発生したものと推定しています。

午後6時45分、受け皿内に留まった水を拭き取り、警報を解除した上で同施設を起動しましたが、同施設を構成する装置間の運転が連携しなかったため、午後6時54分、再び手動停止しました。

午後9時15分、設備に異常のないことを確認の上、同施設を起動しました。

- ・ 6月30日午前8時56分、3号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設プロセス建屋への溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 6月30日午前9時、淡水化処理装置処理水受タンクの濃縮塩水の処理のため、淡水化装置を停止しました。
- ・ 6月30日午前10時46分、セシウム吸着塔交換に伴うフラッシングのため滞留水処理施

設を停止しました。交換後、同施設を起動しましたが、凝集沈殿装置の不具合のため、再度停止しました。

- 6月30日午後1時、屋外仮設タンクからメガフロートへ低レベル滞留水の移送を開始しました。なお、移送ホース表面に1カ所水滲みが確認されましたが、養生を行い外部への漏えいのないことを確認しました。
- 6月30日午後3時、6号機タービン建屋内から仮設タンクへ溜まり水の移送を開始しました。
- 安全の確保に向け全力を尽くすとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視しています。

以 上